



議会だより

あまぎ

令和元年
12月定例会

令和2年1月25日
第114号

祝 新成人

故郷の誇りを胸に、ここから始まる大人の一步



令和2年1月2日 会場：天城町防災センターにて

目 次

● 一般質問	P 2
● 新年のご挨拶	P 7
● 建設経済厚生常任委員会	P 8
● 令和元年12月定例会／編集後記	P 10



吉村 元光
議員

行財政改革について

問 効率的な予算編成、執行について。

天城町は、持続的発展を目標とした総合振興計画の中で全天候型多目的施設や学校校舎、体育館、給食センター施設等のインフラ整備が必要である。その実施においては大きな予算が伴い財源の確保は課題の一つである。そこで国の経済対策に伴う令和元年度補正予算、令和2年度当初予算などの条件の良い財源を活用する事業の推進はできないか？

答 令和元年度は大和城観光地連携整備事業、農業センター研修用ハウス整備工事を補正予算事業に載せた。今後

の対応としては課長会を通じて各事業を国の補正予算事業に適宜に載せられるような事前準備態勢を整える。

農政について

問 さとうきび産業の振興（国の買い上げ価格等）について。

近年、農家からサトウキビは収益率が悪いとの声が上がる中、去る9月定例議会において、町民の方からサトウキビの国の買い上げ価格の値上げ請願書が町議会に提出されたのち採択のうえ武田議長名で内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長に送付した。現在、町内ではこの件で署名活動の動きがあるがこれについてはどのように対処するのか？

答 徳之島は、サトウキビ農家が元気になることが大事である。従来の生産振興対策だ

けでなく、国の買い上げ価格の引き上げについても沖縄県、熊毛地区の力も必要であることから徳之島が先頭に立って署名活動を推進し国の壁を破りたい。

自治行政について

問 自治行政とユイの心の醸成について。

天城町民は、地理的な厳しさの中で生活を向上させるため、お互いに助け合う方法を編み出した。それが「ユイの心」である。しかし農業の構造改革や機械化で稲作、サトウキビ収穫作業の助け合いは姿を消した。現在は、災害時の助け合い、町行政主催行事、集落行事、農道・町道管理作業（草刈り作業）、冠婚葬祭等が主なものであるが人口減少、高齢化等で助け合いが希薄になってきている、またその影響で集落自治活動に苦慮している状況である。今後

は「ユイの心」を醸成するため建設業者の評価や役場職員の採用と評価をボランティア活動への参加の有無を判断対象にする必要があるのではないかと？

答 子供から高齢者まで笑顔で暮らせる町を作りたい。そのためには集落自治活動は重要な役目である。役場職員のボランティア活動への参加協力者もいますが、完全ではない。ボランティア活動の評価は今後検討する。



大吉皓一郎
議員

農業の活性化及び所得の向上について

問 TPP政策大綱改定案（肉用牛の増産に奨励金）について。

答 国は本年度補正の目玉事業として、肉用牛の増産に1頭あたり20万円を支援し中小・家族経営の生産基盤の強化を図っていくとしている。このことに注視していきたい。既に10万円の自家保留導入奨励事業（町単独）を実施しているので、国奨励金が増えることで増頭が加速するものと期待している。

みんなが健康の町について

問 医療旅費の補助について。

答 臓器移植をした方に旅費の助成（1疾病につき3回まで）を行っているが、毎年負担していけるように内容を見直していく。そのほかに、島内での治療が難しい疾病を抱える方についても見合う予算を提案し確保していく。

地方創生の推進と均衡のとれた町土形成について

問 千間海岸の整備について。

答 多様化する観光ニーズに応えるために、平成29年度に観光地整備基本計画を作成している。島内随一のダイビングスポットである千間海岸の整備については、基本計画を基に事業採択に向けて計画的に進めていく。

問 令和2年以降の住宅建設と空き家対策総合支援事業をどのように取り組むのか。

答 令和2年度は活用プログラムをローリング修正し、集合住宅を西阿木名地区に1棟4戸、町単独住宅を天城前里に1棟2戸予定している。

空き家再生等推進事業も2年度以降計画して行っていく。

環境行政について

問 天城・平土野共同墓地の管理について。

答 墓地の通路舗装については、事業費を精査し来年度実施に向けて取り組んでいきたい。

永代使用権については、定期的に管理不十分と思われる箇所調査を行っている。今後も進めていく。

問 合併浄化槽の設置5ヶ年計画の現状と今後の取り組みについて。

答 合併処理浄化槽の設置は平成27年度から5年間で350基計画していたが、令和元年11月末現在209基設置した。来年度は新たに令和2年度から6年度までの地域計画を作成し、事業促進に努めていく。

行財政改革の推進について

問 組織・機構の再編について。（ふるさと納税推進室・地域づくり推進室の新設、教育委員会総務課と社会教育課の統合。）

答 新たな行政課題と町民の多様なニーズに即応できる行政サービスを展開するため、組織・機構の再編を行う。議員の提案も踏まえて総体的に対応していきたい。



奥 好生
議員

問 瀬滝・上屋久地区内の道路補修について

問 補修計画はどのようになっているか。

答 瀬滝・上屋久地区内につ

いては、今年度町道路路面性状調査を行っており、その結果に基づき計画を進めて行く予定である。

農業振興地域整備計画について

問 計画の見直しはあるか。

答 本町の天城農業振興地域整備計画は、昭和48年3月に作成され50年近く見直しがされておらず、農家の皆様にもご迷惑をおかけしています。来年度は委託事業として実施する方向で検討している。

図書館の開館時間・休館日について

問 10時開館を9時開館にできないか。

答 開館時間については、図書館協議会で協議し検討していきたい。

問 休館日（特別資料整理期

問）を少なくできないか。

答 今年度の特別資料整理期間による休館日は、11月26日から12月7日までの期間。今回は前後に月曜日の休館日があったため、15日間となり利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。
資料整理には、蔵書の細かい点検や館内全体の清掃を行うため、最低10日間は必要だと考えている。



平山 栄助
議員

農政について

問 サトウキビ生産者農家の方々より、イノシシによる被害・苦情が多く聞かれるが、被害防止の対策が十分に発揮されているか、聞きたい。

答 昨年に比べイノシシ被害が多くなっている。
対策強化として、狩猟期間中の捕獲も報償金の対象とし、電気柵・アニマルネットの助成事業も増額して、一層の被害防止に努めていきたい。

問 サトウキビの生産者価格の引き上げについて、どのように考えているか。

答 単収向上や省力化などの生産振興面をしっかりと取り組むことは当然ですが、サトウキビ価格に対しても積極的に関係団体と議論し、併せて農家の声を県や国に届けるため、署名活動も含め、前向きに取り組んで参りたい。

交通行政について

問 鹿児島市において、鹿児島市電の延伸計画が提案されていますが、鹿児島新港までの延伸を要望できないか、聞きたい。

答 世界自然遺産登録の実現により、フェリーを利用した観光客の増加も期待される。奄美群島全体として要望ができないか、検討を進めていく。

観光行政について

問 徳之島空港ビル内にATMの設置は出来ないか。

答 空港利用者からATM設置についての要望があり、徳之島空港ビル株式会社と連携して、金融機関に問合せを行っている。空港利用者の利便性向上を図る上で、空港ビル内でのキャッシュレス化の推進と併せて、徳之島空港利用促進協議会と連携を図り、取り組んでいきたい。

問 空港ビル内に高速バス（鹿児島空港リムジンバス）のチケットの販売機の設置が出来ないか。

答 徳之島空港利用促進協議

会と連携し、関係機関や会社側との協議を行いながら、空港利用者の利便性向上につなげていきたい。

町政運営について

問 庁舎内、中庭（ふれあいの池）の改善について。

答 平成6年に建設された庁舎も25年が経過し、老朽化が進んできている。

町民の憩いの場として再利用できないか、色々な意見を取り入れながら進めてまいりたい。



平岡 寛次
議員

町政運営について

問 ふるさと納税の現状について。

答 今年度11月末時点の件数は2,511件、寄附金額は、

3千7百50万円。対前年度比約164パーセントで推移しており、最終的には約7千万円程度の寄附金額を見込んでいる。また、返礼品数は昨年度の87品から274品となった。インターネットからの申込み窓口として「ふるさとチョイス」と「楽天」の2つから本年度は「さとふる」にも掲載している。

問 世界自然遺産登録について。

答 10月5日から12日にかけて、世界遺産委員会の諮問機関である国際自然保護連合（IUCN）の専門家による調査が行われた。現地調査の実施にあたっては、9月27日に13団体約300名が参加したボランティア清掃会も行われ、多くの町議会議員の皆様にも参加いただいた。来年夏ごろに開催予定の世界遺産委員会にて登録の可否が決定する。

防災対策について

問 大型台風に対応可能な電柱であるか。

答 九州電力（株）に確認を行ったところ、南西諸島では、台風常襲地域であるため、電柱の設置に関しては本土の設置基準（風速40m）に対して南西諸島は1.5倍の基準（風速60m）で設置しているとのこと。



上岡 義茂
議員

施政方針について

問 農業、水産業の持続的発展による経済の活性化及び所得の向上について。

答 農業については、栽培技術面や飼養管理、機械化の推進

や各種事業の活用など、単収向上と農家の所得向上に、今後も関係機関と連携しながら、取り組んで参りたい。水産業については、今年度から、新たに燃料費助成を行い、漁業者の所得向上に努めているところである。また、先端水産業実証事業により旧農政局施設を改修。今後、地域おこし協力隊の活動と連携し、陸上養殖や畜養などに繋げていく。

問 将来の天城町を託せる人材の教育について。

答 人材教育のひとつとして、天城町の人・文化・歴史などの学習をとおして、郷土に対する誇りを育んでいく。併せて、^{*}ICT等を活用して「確かな学力」の定着と向上を図り、グローバルな人材育成を、積極的に推進していく。

^{*} ICT とは … パソコンやスマートフォンなど、さまざまな形状のコンピューターを使った情報処理や通信技術の総称

行政運営について

問 職員採用について。

答 少子高齢化、情報化社会など社会情勢の変化や地方分権、職員動向（定年退職・早期退職・派遣・休職・育休）などに対応しつつ、計画的な職員採用を行って行きたい。



松山善太郎
議員

行(財)政改革について

問 多発している事務的誤り・事故等について、どのように対処しているか。(旅費の返納、議案の差し替え・取り下げ、マリンジェットの消失等。)

答 まず、ご指摘のあった事案が発生いたしました事に、町民及び議会の皆様に対し、

お詫びを申し上げます。それぞれの事案につきまして、総務課長及び担当課長並びに関係の職員を口頭注意・訓告・嚴重注意処分を行いました。今後、このような事案がないように地方公務員法等の遵守に努めて参ります。マリンジェットの件につきまして、損害賠償を含め管理体制を再整備し運営して行きたいと考えております。

特別委員会(9月議会設置)について

問 9月定例議会で設置された特別委員会の調査で、防災センター新築工事A工区の完成検査が適正に実施されておらず、検査調書が虚偽報告(3月24日とあるが実際は5月14日以降)になっている。さらに、雨漏り・タイルのひび割れもある。対処は？

答 第6回の委員会に出席致しまして、ご指摘の通り、口頭での説明報告を受けました。正式な委員長報告の結果を踏まえて今後の対応を検討して参りたいと考えております。



久田 高志
議員

医療対策について

問 島内で治療が難しいと言われる疾病患者への旅費助成について、その後どのようになっているか。

答 現在、対象者の範囲や様式等の調整など、要綱の制定に向けて進めているところである。

教育行政について

問 各種検定資格取得支援の取り組みについて、どのようなになっているか。

答 各種検定資格取得の英語・数学・漢字検定については、来年度から各学校の業務改善及び教職員の働き方改革の一つとして、教育委員会が主体になって、小学校と中学校の検定資格取得に取り組む。また、資格取得支援については、テキスト代及び受検料の支援等について、今後関係部署と協議していく。

空港管理について

問 徳之島空港運用時間延長に伴う対応は、どのようになっているか。(人員、予算、安全管理等)

答 徳之島空港の運用時間が1時間延長になり1カ月が経

過。現行の業務はシフト制の時間を変更して対応。予算については、県委託金が年度途中の調整額で増額（89万2千円）となった。安全管理については、排水路・フェンス等の整備、駐車場周辺の外灯設置などを県に要望している。

議会対応について

問 議会での虚偽答弁についてどのように考えているか。

答 天城町防災センター新築工事A工区の完成検査について、前回の9月議会での答弁に誤りがあったのではないかとということであるが、正式に事務検査特別委員会の委員長報告を受けてから、その結果を踏まえて今後の対応を検討してまいりたい。

指名委員会について

問 指名委員会とはどのようなものか。また、指名委員長の権限とはどのようなものか。

答 指名業者推薦委員会設置規定の第1条にあるとおり、地方自治法施行令第167条の12の規定に基づき、町長が行う指名競争入札により契約を締結しようとするとき、当該入札に参加することができ資格を有するもののうちから、当該入札に参加させようとする者の選定を適正に諮問するため設置されており、委員長は、議事の運営の必要に応じ主管担当者の出席を求めることができる。



新年のご挨拶

天城町議会議員 武田 正光



町民の皆様方には、令和2年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から、議会活動に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、全国各地で少子化の進行及び地方の人口減少と衰退が大きな社会問題となっており、今日、地方創生が強く叫ばれている中、子育て対策の充実や、農業の担い手づくりなど、様々な施策が展開されております。

我が町におきましても人口減少は大きな課題であり、地域の担い手を失う深刻な問題であります。

町議会といたしましても、移住・定住施策や人材育成の充実に、より一層切磋琢磨し、取り組んでいく所存であります。

また、本年は、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録の可否が夏頃には示されることとなります。世界自然遺産登録が実現しますと、国内外からこれまで以上に自然環境の保全に対する意識が高まるとともに、観光産業をはじめとした地域の活性化が期待できます。

その一方で、住民一人一人が自然環境に対する意識変化の対応が求められ、観光利用の適正な管理、利用者のマナー向上、保全活動の活発化など、一人ひとりの意識や関わり方が重要となりますので、官民一体となり取り組んで行けるよう議会としても活動して参ります。

さらに、私も議会といたしましても町民の皆様の声を真摯に受け止め、さまざまな町政の課題解決に向けて全力を尽くし邁進していく所存でございますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって輝かしい良き1年となりますよう、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

『この美しい島を未来の子ども達へ』

建設経済厚生常任委員会所管事務調査

調査目的…ゴミ処理施設におけるゴミ分別、稼働状況について

視察年月日…令和元年8月6日（火）

調査地…長崎県対馬市

はじめに・・・

今年度は台風の被害も少なく、基幹産業の一つでもあるサトウキビもすくすくと育ち、農家の皆様の笑顔も増える事だろうと期待しております。さて、今年の夏には世界自然遺産登録の可否が決定する予定となっております、登録を目指し三町一体となって自然保護や景観整備などに努めて参りました。

しかしながら、いまだにプラスチックゴミや肥料袋、大型家電などの不法投棄も見られ、流木やペットボトル等の海岸漂着物においても多く見られるようです。

そのような中、ゴミ処理施設



の老朽化による機械故障や、台風被害に伴う災害ゴミの増加により処理が追いつかない状況も発生しておりました。その為現在の施設を大規模改修し延命するか、建設当時の三町長の申し合わせ通り天城町へ移転するかが議論されております。

今後の施設のあり方を検討していく中で参考となる施設を調査するため、長崎県対馬市のクリーンセンターを視察してまいりました。

(対馬クリーンセンター施設のこれまでの経緯)

対馬クリーンセンターは、平成15年に稼働し、平成27年度にクリーンセンター長寿化計画を策定しました。その後、平成29年度から31年度で施設の延命措置を行い、15年間の延命化を図りました。



対馬市の概要とクリーンセンター施設の特徴

(市の概要)

- ・人口 … 30,562人
- ・ゴミ搬入量 … 11,061t
- ・一人当たりゴミ搬出量 … 362kg

(施設の特徴) 平成15年3月竣工

- ・対馬クリーンセンター施設規模総工費 … 58億8,147万円
- ・ゴミ焼却処理能力(日) … 30t/24時間×2炉 計60t
- ・リサイクル処理能力 … 21t/5時間
- ・浸出水処理能力 … 60m³/日
- ・埋立処理容量 … 39,000m³

徳之島の概要とクリーンセンター施設の特徴

(町の概要)

- ・人口 … 27,000人
- ・ゴミ搬入量 … 7,310t
- ・一人当たりゴミ搬出量 … 271kg

(施設の特徴) 平成15年3月竣工

- ・徳之島クリーンセンター建設規模総工費 … 61億9,100万円
- ・ゴミ焼却処理能力(日) … 19t/8時間×2炉 計38t
- ・リサイクル処理能力 … 13t/5時間
- ・浸出水処理能力 … 30m³/日
- ・埋立処分容量 … 29,600m³

対馬クリーンセンターの延命化における施設建設費

- ・長寿命化策定業務 7 百 98 万 7 千円
- ・クリーンセンター改良工事設計業務 6 百 68 万 2 千円
- ・クリーンセンター設備改良工事 18 億 1 千 4 百 40 万円
- ・クリーンセンター設備改良工事施工管理業務 1 千 5 百 44 万 4 千円
- 合計 18 億 4 千 4 百 51 万 3 千円

対馬市の特徴

(生ゴミの資源化：資源循環型サイクル)

可燃ゴミの半分は水分と言われ、その水分のほとんどは生ゴミ由来と言われています。

生ゴミを資源化することにより、可燃ゴミの水分が減少し、発熱量が高くなります。また、可燃ゴミの発熱量が高くなることにより、この燃料を削減することが可能になると考えられます。

- 生ゴミ処理施設を建設
- 特殊設備により生ゴミを堆肥化し、市民へ 10 k g あたり 26 円で提供している。



徳之島クリーンセンターを延命した場合の改修工事費

- ・概算約 40 億円



生ゴミの循環の流れ



今後、徳之島の施設整備に重要なポイントは・・・

1. ゴミ処理施設への負荷低減（処理ゴミ量、生ゴミ量の減量等）
2. 焼却施設からの温室効果ガス・ダイオキシンの排出抑制
3. ゴミ処理コストをさらに低減（燃料・電気使用量の低減）
4. 中間処理施設による産業廃棄物等混入防止
5. 施設の適正な維持管理（事業者や作業員の研修活動など）



おわりに・・・

私達利用者のゴミに対する意識向上も課題であり、一人一人が自分の出すゴミに責任を持つ事も考えなければなりません。その為にゴミの分別の徹底、減量、ゴミ袋への記名をしっかりと行っていくことが求められます。

令和元年 12 月定例会

番 号	件 名	結 果
議案第 51 号	天城町水道事業の設置等に関する条例の制定について	原案可決
議案第 52 号	天城町水道事業給水条例の制定について	原案可決
議案第 53 号	天城町水道事業運営審議会条例の制定について	原案可決
議案第 54 号	天城町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	原案可決
議案第 55 号	天城町監査委員条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 56 号	天城町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 57 号	天城町印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 58 号	天城町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 59 号	天城町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 60 号	天城町町道の路線の廃止及び変更について	原案可決
議案第 61 号	令和元年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第 4 号）について	原案可決
議案第 62 号	令和元年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第 3 号）について	原案可決
議案第 63 号	令和元年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第 3 号）について	原案可決
議案第 64 号	令和元年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第 2 号）について	原案可決
議案第 65 号	令和元年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算補正（第 3 号）について	原案可決
陳情第 10 号	徳之島自動車学校存続について	継続審査
	事務検査特別委員会の委員長報告について	
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決

編集後記

新年号が令和に変わり最初の正月を迎えました。

議会だより第114号も、編集作業や健筆によって内容の濃い紙面が出来上がりました。

私も議員になって一年が過ぎました。議会定例会で一般質問を行ってまいりましたが、質問を考え文章化することがいかに大変であるかを経験しました。一字一句丁寧に書いたつもりでも誤りが多く、書いては訂正するのに四苦八苦しました。

さて昨年は台風被害も少なく、農家の皆様におかれましては久しぶりの豊作が期待されます。また、今年は世界自然遺産登録の実現が期待され、第75回国民体育大会トライアスロン競技も天城町で開催されます。二重の喜びを期待したいところです。

結びに、編集にあたっては町民の皆様には議会活動や内容をわかりやすく伝えられるよう、紙面作りに切磋琢磨していきたいと思っております。今後ともご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

議会だより編集委員会

喜入 伊佐男

発行／鹿児島県 天城町議会
編集／天城町議会だより編集委員会

〒 891-7612 鹿児島県大島郡天城町平土野 2691-1
TEL (0997) 85-3111 FAX (0997) 85-3110
<http://www.yui-amagi.com/>